

# 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組む 事業の進捗状況等について（修正後）

令和3年9月16日

## 【数値目標、重要業績評価指標(KPI)について】

この資料では、数値目標および重要業績評価指標(KPI)について、総合戦略を策定した時点で把握していた、「平成30年度」の実績値を「基準値」、総合戦略の計画期間が終了する令和6年度の数値を「目標値(R6年度)」、今回ご審議いただく数値を「現状値(R2年度末)」と表記しています。

事業が実施されなかったなど、実績値の把握ができない場合は「—」と表記しています。

## 【進捗率について】

平成30年度末時点での数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗具合の目安として、「進捗率」を掲載してあります。

### ① 平成30年度末時点の数値を把握している指標の進捗率

式1: (現状値－基準値) / (目標値－基準値) = 進捗率

例1: 子育て支援アプリのダウンロード数

(現状値7,212件－基準値4,451件) / (目標値12,000件－基準値4,451件) = 進捗率36.6%

基準値	現状値	目標値	進捗率
H30 年度	R2 年度	R6 年度	
4,451件	7,212件	12,000件	36.6%

### ② 新規事業など、平成30年度末時点では、数値の把握をしていない指標の進捗率

式2: 実績値 / 目標値 = 進捗率

例2: AI チャットボット年間アクセス数

現状値8,613件 / 目標値5,800件 = 進捗率148.5% ⇒ 「達成」

基準値	現状値	目標値	進捗率
H30 年度	R2 年度	R6 年度	
0件	8,613件	5,800件	達成

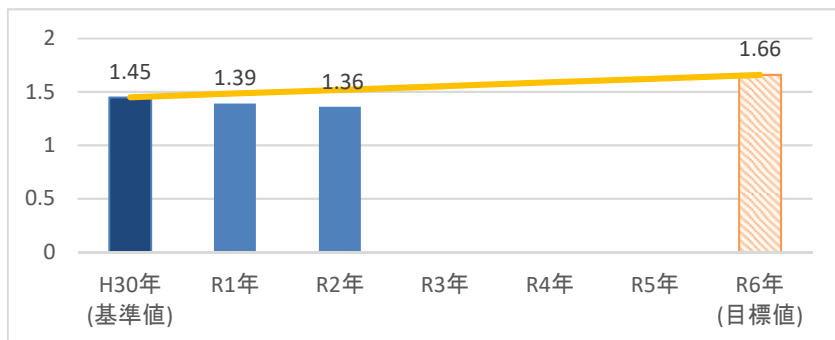
備考: 令和2年11月実証実験開始

### ③ 進捗率の表記について

①、②により進捗率を算出し、結果を表記していますが、進捗率を算出した結果、数値がマイナスになるもの(現状値が基準値を下回っているもの)は「—」、進捗率が100%以上のもの(現状値が目標値を上回っているもの)は「達成」と表記しています。

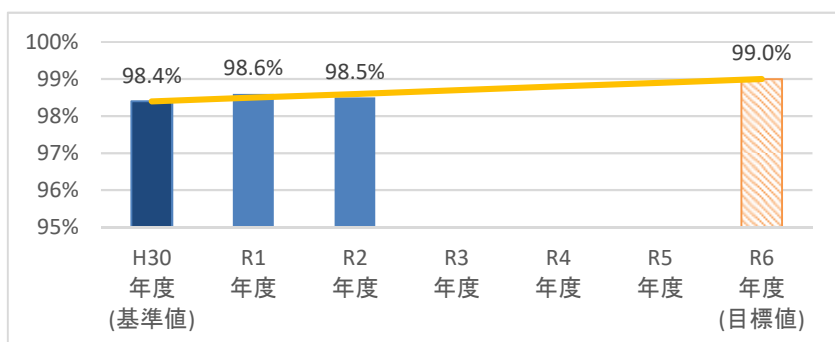
# 基本目標 1 「希望」：「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる

数値目標	H30年 (基準値)	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 (目標値)
合計特殊出生率	1.45	1.39	1.36				1.66



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年	R2年	R6年	
1.45	1.36	1.66	—

数値目標	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
4か月児健康診査の受診者のうち「相談する人」がいる人の割合	98.4%	98.6%	98.5%				99.0%



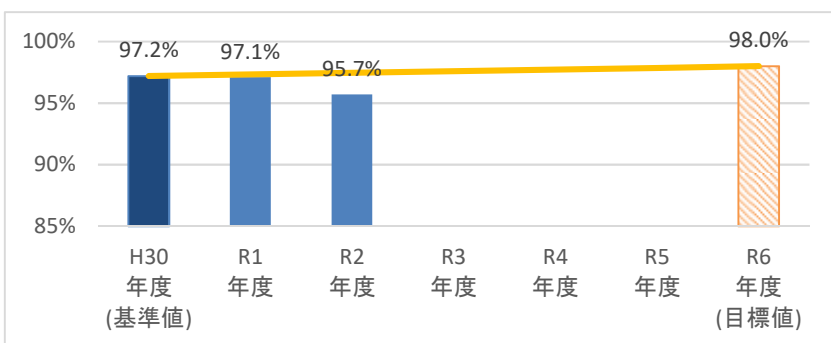
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
98.4%	98.5%	99.0%	17%

## ① 結婚、妊娠・出産、子育てに対する支援

主な事業	事業概要	担当課
青年文化教室での出会い支援	若い世代が結婚の希望をかなえられるよう、青年文化教室において、婚活のきっかけとなるセミナーや交流会等を開催する。	青少年課
不妊・不育症に関する支援	自己負担が高額となる特定不妊治療（体外受精、顕微授精治療）に対し、既存の補助制度に上乗せする形で市単独の補助を行うとともに、不妊・不育症に関する相談事業を実施する。	保健総務課 健康支援課
母子健康包括支援センター事業	妊娠届出時及び妊娠32週頃に、面談等により妊婦の悩みや不安の相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行い、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行う。	健康支援課
産後ケア事業	出産後、体調や育児に不安のある母子が安心して健やかな生活を始められるよう、医療機関等への宿泊や、助産師の家庭訪問により、母親の健康管理、食事・授乳・沐浴指導、相談等のケアを提供する。	健康支援課

産後ヘルプ事業	母親が出産前後の体調不良により、家事や育児が困難な家庭に対し、市がその援助者を紹介する。	保育課
子育て支援サイト・アプリ・電子母子手帳運用事業	子育て支援センター・保育園に関する情報等、子ども・子育て支援に関する情報を市全体で集約し、ウェブサイト、スマートフォンアプリ、ハンドブック（小冊子）で情報発信する。	子育て支援課
	子育て支援サイト・アプリの電子母子手帳機能を活用し、乳幼児の成長を記録したり、予防接種や離乳食の開始時期等の母子保健に関する情報を提供する。	健康支援課

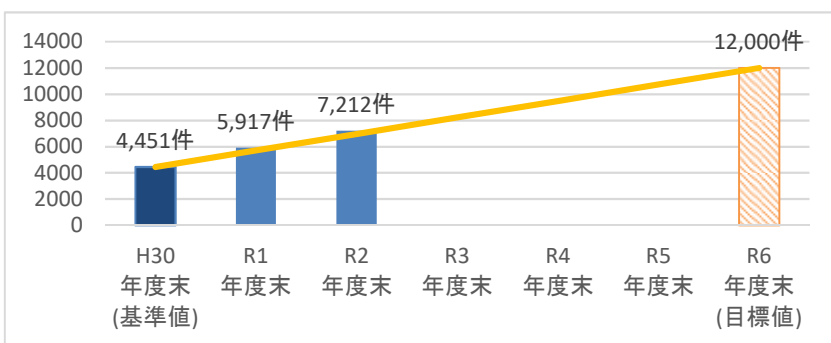
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
母子健康手帳・母と子のしおり交付時の面接率	97.2%	97.1%	95.7%				98.0%



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
97.2%	95.7%	98.0%	

備考：R2年度コロナの影響で母本人の来所減

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度末 (基準値)	R1年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末 (目標値)
子育て支援アプリのダウンロード数	4,451件	5,917件	7,212件				12,000件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
4,451件	7,212件	12,000件	

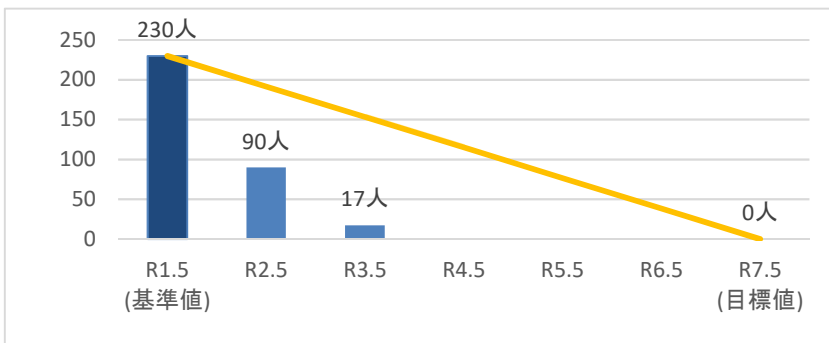
備考：

## ② 安心して子どもを預けられる環境の整備

主な事業	事業概要	担当課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室の総合的推進	放課後児童クラブと放課後子ども教室のそれぞれの役割を相互に補完しながら、放課後の児童の居場所を確保する。	子育て支援課 青少年課
小規模保育事業所への補助	保育ニーズの高い地域において、0～2歳を保育する小規模保育事業所の開設を促進し、子どもを預けたい保護者の需要に応える。	保育課

延長保育事業	保護者の就労形態の多様化や通勤時間の増加等により、保育園の通常保育よりも長時間の保育が必要となる児童を指定保育園で保育する。	保育課
休日保育事業	保護者の就労形態等により、日曜日及び祝日に家庭での保育が継続的に困難な児童を、指定保育園で保育する。	保育課
病児・病後児保育事業	保育園等に通園している児童が病気またはその回復期で集団保育が困難であり、かつ保護者が仕事などのやむを得ない理由で家庭では保育できない場合、指定保育園等で保育する。	保育課
医療的ケア児保育モデル事業	特定の保育園において、経管栄養やインスリン注射などの医療的行為を必要とする子ども（医療的ケア児）の保育を試行的に行う。	保育課
ファミリー・サポート・センター事業	仕事と育児の両立を支援するため、育児援助を行いたい方と受けたい方の援助活動の調整を行う。	保育課
子ども一時預かり事業	子育て中の母親や父親がリフレッシュするため、中央子育て支援センターで一時的に乳幼児を預かる。	保育課

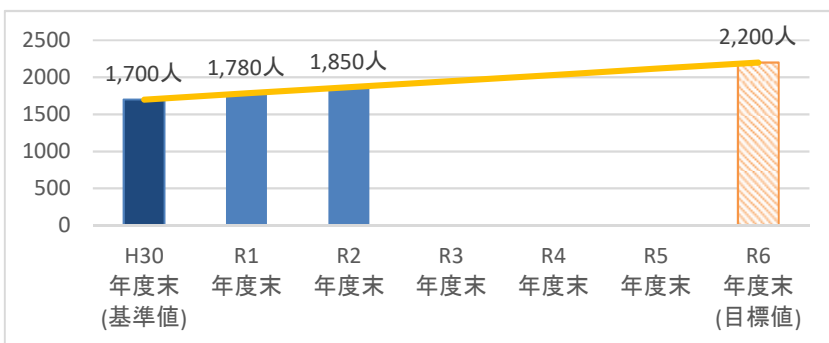
重要業績評価指標(KPI)の推移	R1.5 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
放課後児童クラブの待機児童数	230人	90人	17人				0人



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.5	R3.5	R7.5	
230人	17人	0人	92.6%

備考：増築・新築に伴う定員増による待機児童数の減少

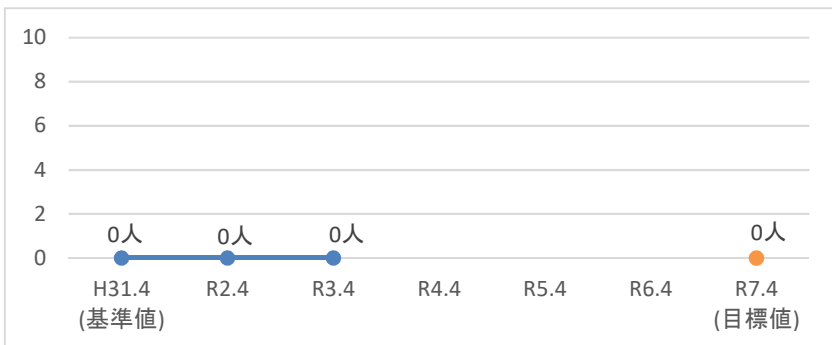
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30 年度末 (基準値)	R1 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末 (目標値)
放課後子ども教室の定員数	1,700人	1,780人	1,850人				2,200人



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30 年度	R2 年度	R6 年度	
1,700人	1,850人	2,200人	30.0%

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H31.4 (基準値)	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4 (目標値)
保育所等の待機児童数	0人	0人	0人				0人



基準値	現状値	目標値	進捗率
H31.4	R3.4	R7.4	
0人	0人	0人	達成

備考：

### ③ 経済的支援による子育て世代の負担軽減

主な事業	事業概要	担当課
子ども医療費助成事業	子育て世代への経済的援助を目的として、中学生以下の医療費（保険診療分）の自己負担分を全額助成する。	保険年金課
高等学校等就学助成事業	高等学校等での教育に係る経済的負担を軽減するため、助成金を交付する。	総務課
多子世帯の保育料等の軽減	多子世帯の経済的な不安を解消するため、子どもが3人以上いる一定の要件に該当する世帯の乳児の保育料と3歳以上の幼児の副食費を無料にする。	保育課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30 年度 (基準値)	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度 (目標値)
子ども医療費（保険診療分）の自己負担	無料	無料	無料				無料



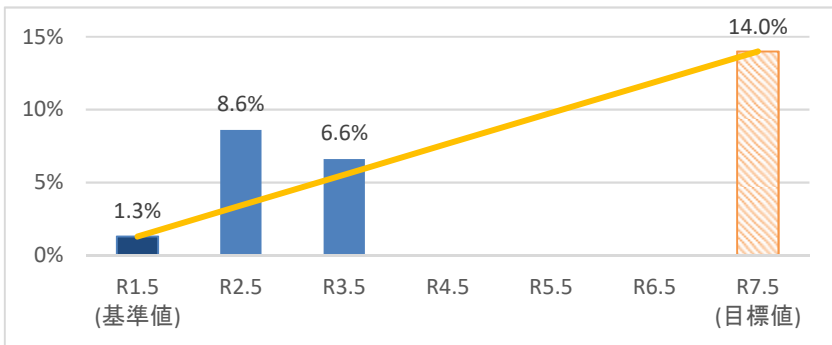
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
無料	無料	無料	達成

備考：

### ④ 仕事と家庭の両立への支援

主な事業	事業概要	担当課
仕事と家庭の両立等に取り組む企業への支援	育児や介護に関する取組を積極的に行う企業を支援するため、事業所が企画・実施するワーク・ライフ・バランス等に関する研修会に、講師を無料で派遣する。	政策課
男女共同参画推進事業	誰もが個性と能力を發揮できる社会づくりを進めるため、男女共同参画に関する情報紙の発行、セミナーの開催や児童・生徒からの作品募集等を行う。	政策課

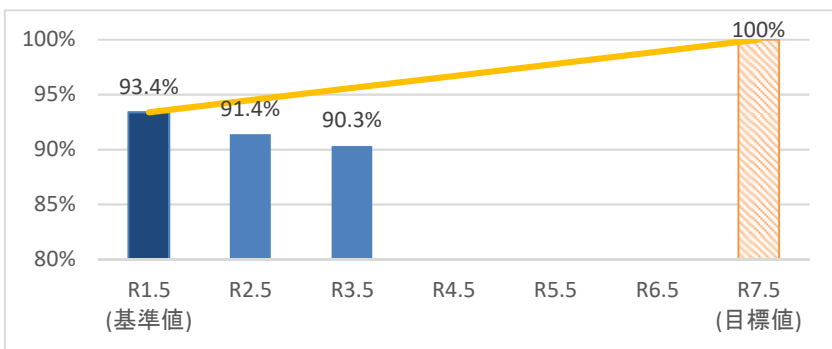
重要業績評価指標(KPI)の推移	R1.5 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
育児休業取得率(男性)	1.3%	8.6%	6.6%				14.0%



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.5	R3.5	R7.5	
1.3%	6.6%	14.0%	41.7%

備考：

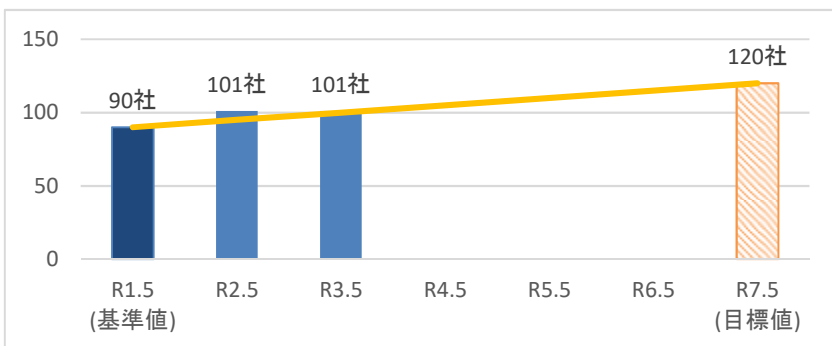
重要業績評価指標(KPI)の推移	R1.5 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
育児休業取得率(女性)	93.4%	91.4%	90.3%				100%



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.5	R3.5	R7.5	
93.4%	90.3%	100.0%	—

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	R1.5 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
ファミリー・フレンドリー企業登録企業数	90社	101社	101社				120社



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.5	R3.5	R7.5	
90社	101社	120社	36.7%

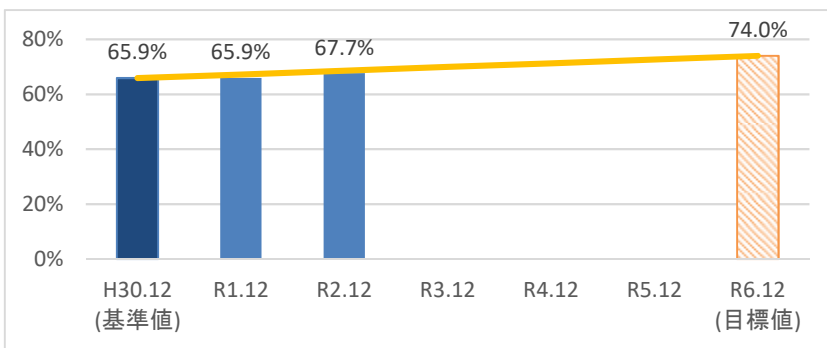
備考：

### ⑤ 特色ある教育の実施

主な事業	事業概要	担当課
魅力あふれる学校づくり推進事業	特色ある学校づくりに向けて、「現職教育推進活動」「特色ある学校づくり推進活動」「コミュニティスクール推進」の3つの活動を互いに関連付けながら、各学校が主体的に活動を推進する。	学校教育課

小中学校へのタブレット型パソコン導入の検討	児童・生徒がICT（情報通信技術）機器を活用して学び・育つ環境を整備するため、市内全小中学校に順次、無線LAN及びタブレット型パソコンを導入する。	総務課 学校教育課
ミュージアムキッズクラブ事業	地域の自然・歴史・民俗の学習など、子どもたちが学校とは異なる場で学び、地域の特長に触れる機会を設けることで、地元への愛着と誇りを育む環境をつくり、人を育てる。	博物館管理課
公共施設を活用した学習室の設置	公共施設の空き時間を利用して、テスト期間中の祝休日に中高生を対象とした学習室として開放し、次世代を担う学生が気軽に学習できる環境を整備する。	青少年課

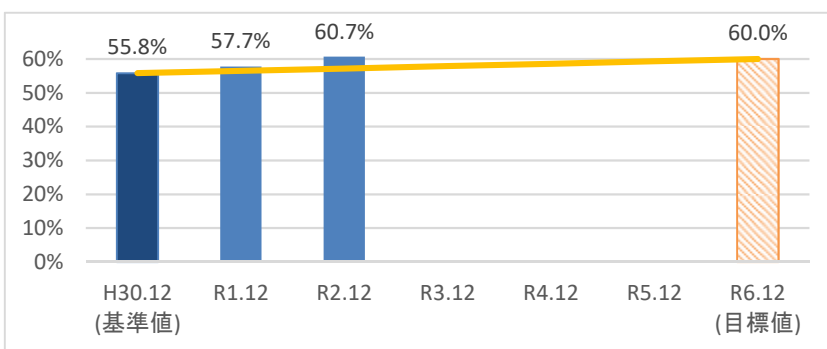
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30.12 (基準値)	R1.12	R2.12	R3.12	R4.12	R5.12	R6.12 (目標値)
「学校が楽しい」と感じている児童・生徒の割合(小学生)	65.9%	65.9%	67.7%				74.0%



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
65.9%	67.7%	74.0%	

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30.12 (基準値)	R1.12	R2.12	R3.12	R4.12	R5.12	R6.12 (目標値)
「学校が楽しい」と感じている児童・生徒の割合(中学生)	55.8%	57.7%	60.7%				60.0%



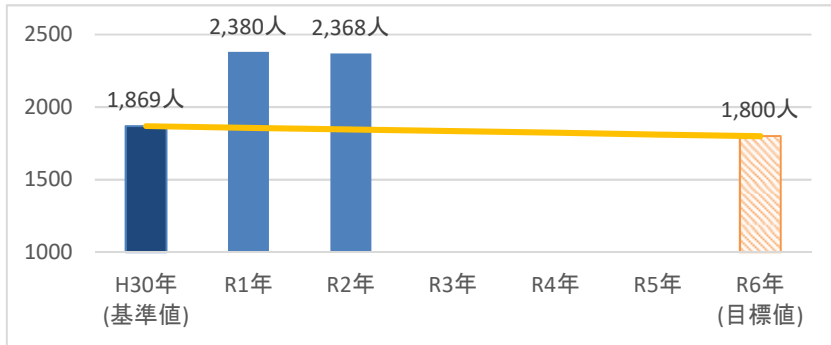
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
55.8%	60.7%	60.0%	

備考：



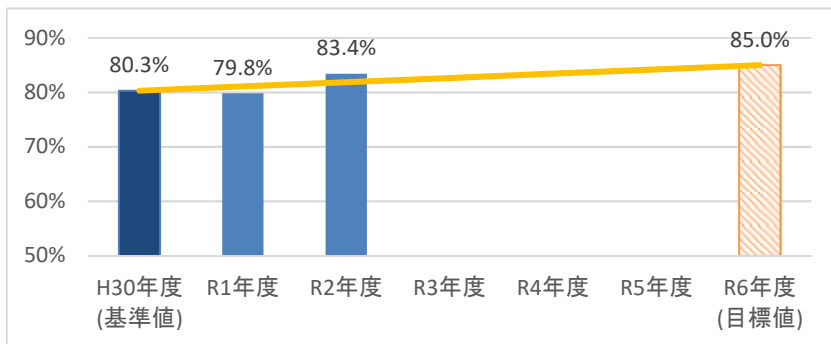
## 基本目標2「調和」：「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる

数値目標	H30年 (基準値)	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 (目標値)
社会増減（直近5年間累計）	1,869人 (H26~H30)	2,380人 (H27~R1)	2,368人 (H28~R2)				1,800人 (R2~R6)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年	R2年	R6年	
1,869人	2,368人	1,800人	達成

数値目標	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
一宮市に住み続けたいと思う人の割合	80.3%	79.8%	83.4%				85.0%



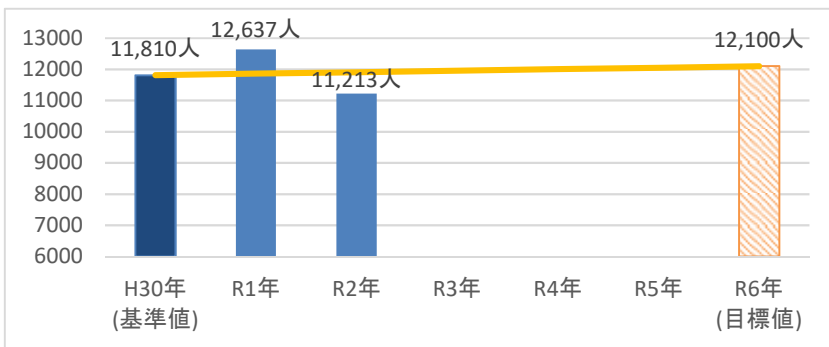
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
80.3%	83.4%	85.0%	66.0%

### ① 戦略的な情報発信と移住・定住促進

主な事業	事業概要	担当課
デュークス(DEWKs)*に向けた情報発信事業	本市への移住・定住の促進を目指し、ウェブサイトやPR動画等を活用して市の魅力を発信する。	政策課
移住促進支援事業	東京圏からのU・Jターンの促進等を目的に、東京23区在住者・通勤者が本市に移住して、中小企業等に就業するか起業した場合に、移住にかかる費用を補助する。	商工観光課

\*DEWKs：子どものいる共働き夫婦のこと（Double Employed With Kids の略）

重要業績評価指標(K P I)の推移	H30年 (基準値)	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 (目標値)
転入者数	11,810人	12,637人	11,213人				12,100人

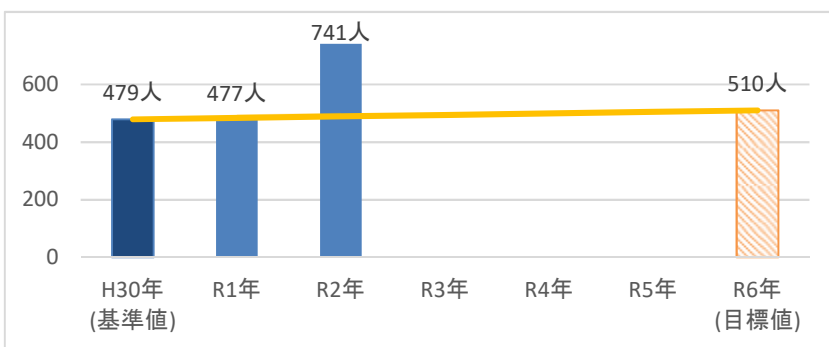


基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年	R2年	R6年	
11,810人	11,213人	12,100人	

備考：

【重要業績評価指標 (K P I) の推移】

重要業績評価指標(K P I)の推移	H30年 (基準値)	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年 (目標値)
25～49歳の人口の社会増減 (直近5年間累計)	479人 (H26～H30)	477人 (H27～R1)	741人 (H28～R2)				510人 (R2～R6)



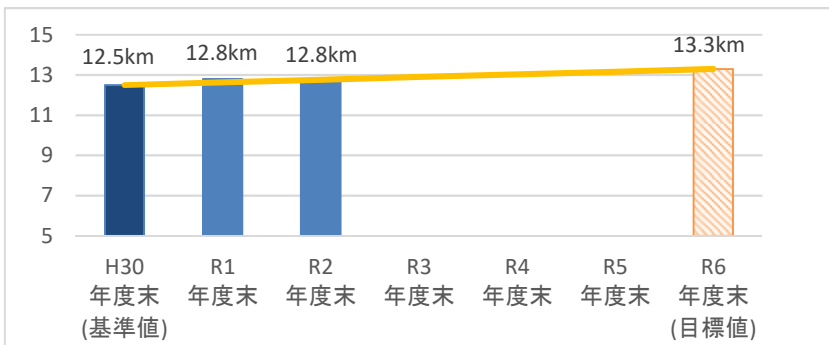
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年	R2年	R6年	
479人	741人	510人	

備考：

② 自然と親しめる木曾川沿川の整備

主な事業	事業概要	担当課
木曾川沿川遊歩道・自転車道整備事業	木曾川河川敷の豊かな自然を活かし、広域的なネットワーク軸を創出するため、国と連携しながら遊歩道・自転車道等の整備を行う。	公園緑地課
木曾川河川敷公園拠点整備事業	子育て世代を中心とした様々な人が集う、新たなにぎわいの場をつくるため、富田山公園を始めとした木曾川河川敷の拠点となる施設の整備を行う。	公園緑地課
木曾川イタセンパラ保護啓発事業	木曾川に生息する天然記念物であるイタセンパラの保護・啓発、川と人の暮らしとの関わりを考える学習機会などを通じ、木曾川沿川の自然に親しむ環境づくりを行う。	博物館管理課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30 年度末 (基準値)	R1 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末 (目標値)
遊歩道・自転車道の整備総延長	12.5km	12.8km	12.8km				13.3km
単年度	0.3km	0.3km	0.01km				—



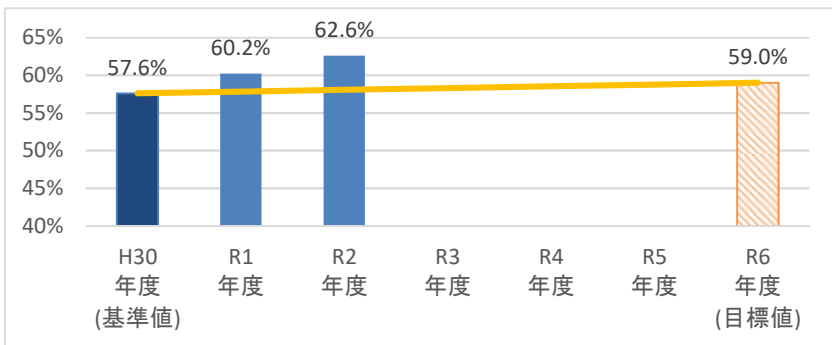
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30 年度	R2 年度	R6 年度	
12.5km	12.8km	13.3km	

備考：国との協議で一旦工事休止

### ③ 誰もが健康に暮らせるまちづくり

主な事業	事業概要	担当課
地域医療連携ネットワークの構築	市民病院の診療内容を、かかりつけ医が閲覧・確認できるようにすることで、連携をいっそう強固なものとし、地域完結型の医療体制を目指す。	地域医療連携室
医療安全支援センター事業	医療に関する患者・市民の苦情や相談に対応するとともに、医療機関、患者・市民に対して助言や情報提供を行い、医療安全対策を推進する。	保健総務課
生活習慣病予防事業	生活習慣病の予防や早期発見を目的として、40歳から74歳の国民健康保険の被保険者、愛知県後期高齢者医療の被保険者等を対象に、健康診査を実施する。また、健康診査の結果、一定の基準を超えた人を対象に特定保健指導を実施する。	保健総務課 保険年金課
健康マイレージ事業	市民の主体的な健康づくりを応援するため、県と協働し、健康に関する取組に対してポイントを付与して協力店で特典が受けられるカードの交付を行う。	健康支援課
地区スポーツ事業	地域住民の余暇の活用、体力の増進やコミュニティスポーツの発展を目指すため、市内の各連区でスポーツ教室を開催する。	スポーツ課
緑道整備事業	散策や観光、レクリエーションの拠点となり、災害時の避難路にもなる都市内の緑地帯として、暗渠化された水路の上部や河川敷に緑道を整備する。	公園緑地課
おでかけ広場の拡大	地域の高齢者が気軽に交流できる場所をつくるため、体操や茶話会など様々な活動を行う「おでかけ広場」の募集・認定を行う。	高年福祉課
貯筋教室の開催	高齢期の健康な生活を支援するため、高齢者を対象に、転倒・骨折を予防するための体操教室を行う。	高年福祉課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
健康維持に取り組んでいる人の割合	57.6%	60.2%	62.6%				59.0%

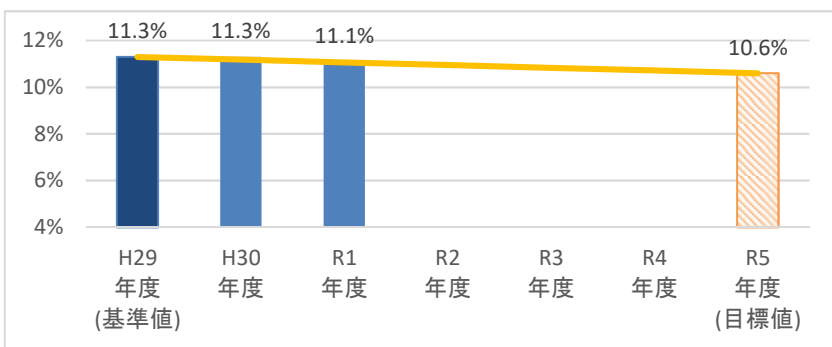


基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
57.6%	62.6%	59.0%	達成

備考：

【重要業績評価指標 (KPI) の推移】健康維持に取り組んでいる人の割合

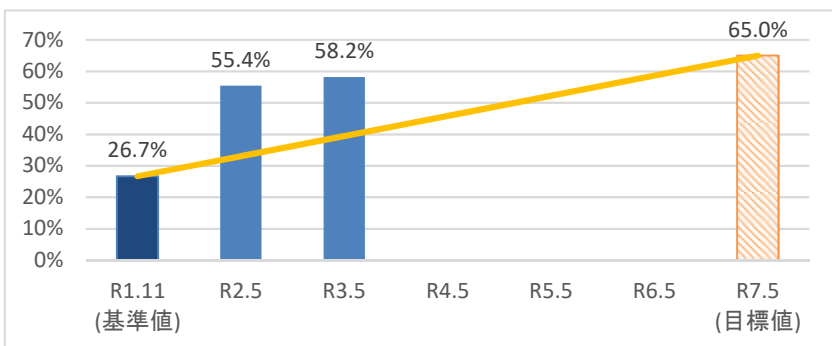
重要業績評価指標(KPI)の推移	H29年度 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 (目標値)
国民健康保険の特定保健指導の該当率	11.3%	11.3%	11.1%				10.6%



基準値	現状値	目標値	進捗率
H29年度	R1年度	R5年度	
11.3%	11.1%	10.6%	28.6%

備考：

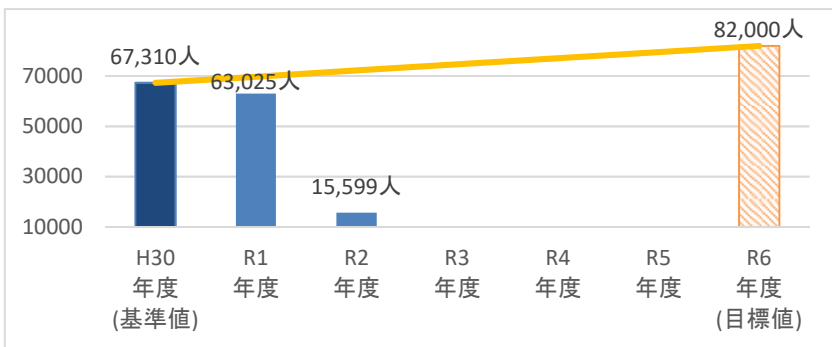
重要業績評価指標(KPI)の推移	R1.11 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
週1回以上スポーツを実施している人の割合	26.7%	55.4%	58.2%				65.0%



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.11	R3.5	R7.5	
26.7%	58.2%	65.0%	82.2%

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
貯筋教室の参加者数	67,310人	63,025人	15,599人				82,000人



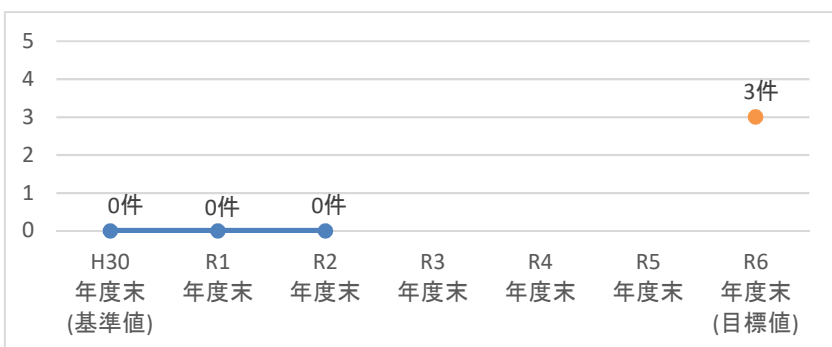
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
67,310人	15,599人	82,000人	—

備考：R2年度コロナの影響で中止や縮小

#### ④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化

主な事業	事業概要	担当課
一宮駅周辺の土地の高度利用によるにぎわいの創出	一宮駅周辺の土地の高度利用を促すため、容積率の緩和や高度利用型地区計画、総合設計などのまちづくり手法を総合的に活用し、商業業務施設の立地、都心居住の促進、まちのにぎわいの創出を推進する。	都市計画課 建築指導課
まちなかウォークアブル推進事業	一宮駅を中心としたエリアにおいて、周辺関係者との意見交換や官民連携の活動を通して「居心地が良く、歩きたくなるまちづくり」を目指し、まちの活性化を推進する事業を行う。	都市計画課
商工団体等事業補助	商工団体等が行う、催事などのにぎわい創出、講習会の開催、街路灯の設置、防犯カメラの設置等の経費に対して補助を行う。	商工観光課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度末 (基準値)	R1年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末 (目標値)
建築規制緩和の適用による建築件数 (累計)	0件	0件	0件				3件

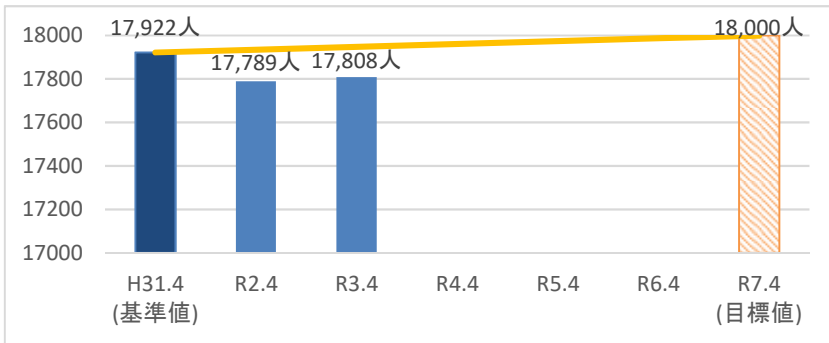


基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
0件	0件	3件	0.0%

備考：建設中のものもあるが、完成するまでカウントできないため0件

重要業績評価指標(K P I)の推移	H31.4 (基準値)	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4 (目標値)
一宮駅周辺地区*の居住人口	17,922人	17,789人	17,808人				18,000人

\*一宮市立地適正化計画における都市機能誘導区域の一宮駅周辺地区の範囲



基準値	現状値	目標値	進捗率
H31.4	R2.4	R7.4	
17,922人	17,808人	18,000人	—

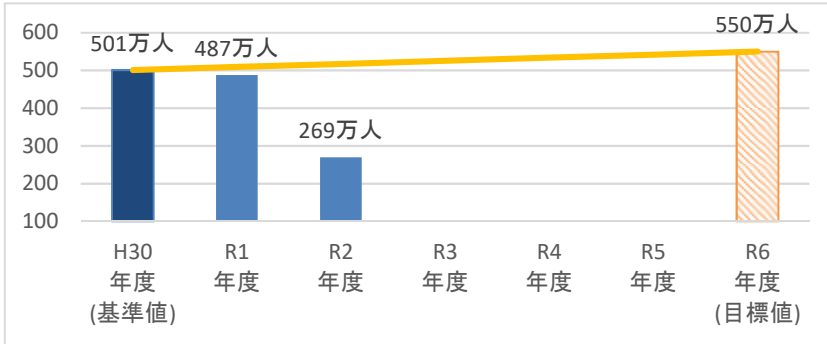
備考：

# 基本目標3「魅力」：「一宮らしさをアピールし、ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

数値目標	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
観光スポット・イベントの来客者数	501万人	487万人	269万人				550万人

(1万人未満は四捨五入)

## ◆数値目標指標 観光スポット・イベントの来客者数

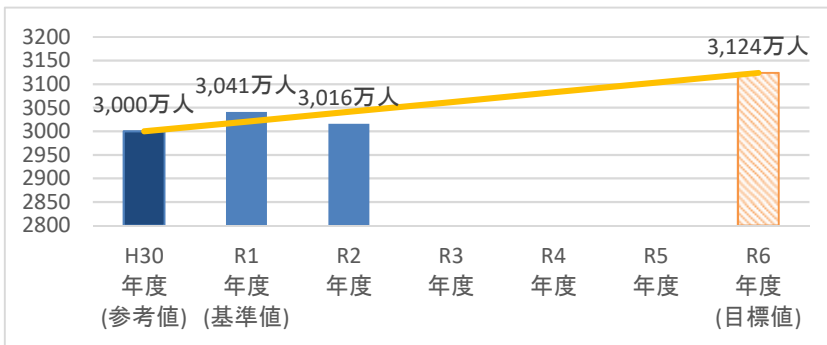


基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
501万人	269万人	550万人	—

数値目標	H30年度 (参考値)	R1年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
JR・名鉄の一宮駅の乗降人員 (定期利用者除く・直近3年間累計)	3,000万人 (H27~H29)	3,041万人 (H28~H30)	3,016万人 (H29~R1)				3,124万人 (R3~R5)

(1万人未満は四捨五入)

## ◆数値目標指標 JR・名鉄の一宮駅の乗降人員（定期利用者除く・直近3年間累計）



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1年度	R2年度	R6年度	
3,041万人	3,016万人	3,124万人	—

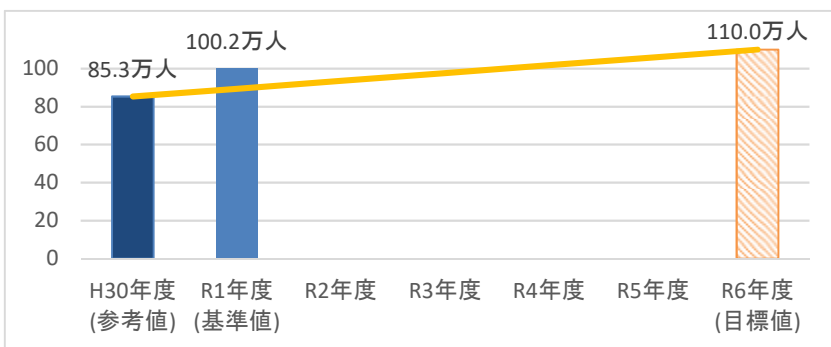
## ① 魅力ある集客イベントの開催

主な事業	事業概要	担当課
趣向を凝らした七夕まつりの開催	観光客の誘致と商工業の振興、地域の活性化を促すため、日本三大七夕まつりの一つと称される「一宮七夕まつり」を全国にPRし、趣向を凝らしたイベントを開催する「おりもの感謝祭一宮七夕まつり協進会」を支援する。	商工観光課
冬の七夕カーニバル・一宮イルミネーションの開催	冬季の一宮駅周辺のにぎわいを創出するため、イルミネーションの装飾及び関連行事を開催する「一宮イルミネーション協議会」を支援する。	商工観光課

濃尾大花火の開催	重なる観光資源の一つとして、本市に多くの観光客を誘致するとともに、市のPRと地域の活性化を図るため、濃尾大花火を実施する「濃尾大花火開催委員会」を支援する。	商工観光課
国営木曽三川公園三派川地区センターイベントの開催	国営木曽三川公園三派川地区センターイベント実行委員会に負担金を交付し、138タワーパークで年4回イベントを開催する。	公園緑地課
いちのみやリバーサイドフェスティバルの開催	公園の利用促進と緑化を推進するため、ゴールデンウィークに「いちのみやリバーサイドフェスティバル」を開催する。	公園緑地課
ミズベリング138事業	水辺に興味を持つ市民や企業、そして、行政が三位一体となり、水辺とまちが一体となった美しい景観と新たなにぎわいを生み出すイベントを誘致、開催する。	公園緑地課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (参考値)	R1年度 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
七夕まつり来客者数	85.3万人	100.2万人	—				110.0万人

(1千人未満は四捨五入)

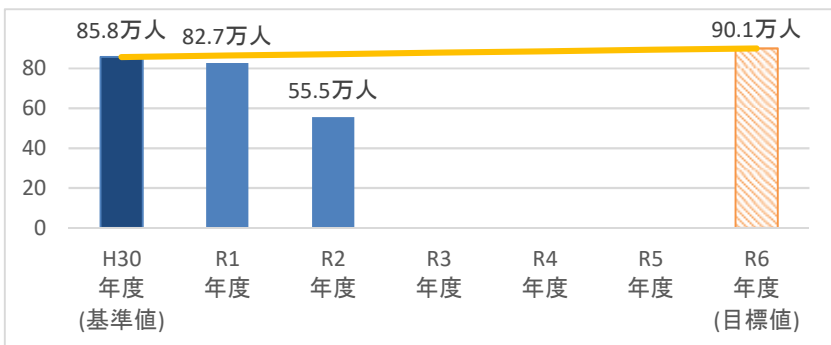


基準値	現状値	目標値	進捗率
R1年度	R2年度	R6年度	
100.2万人	—	110.0万人	—

備考：R2年度コロナのため中止

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
138タワーパークイベント入園者数	85.8万人	82.7万人	55.5万人				90.1万人

(1千人未満は四捨五入)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
85.8万人	55.5万人	90.1万人	—

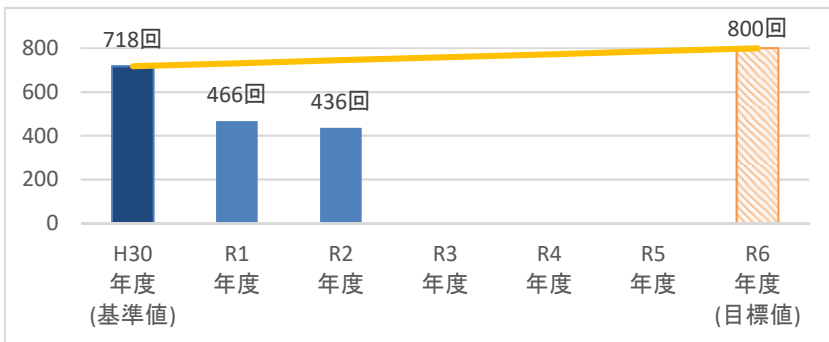
備考：コロナの影響で休館、中止、縮小などのため。



## ② 市の魅力・知名度の向上

主な事業	事業概要	担当課
市制施行100周年記念事業	市制施行100周年の節目にあたり、基本理念及び「健康・元気」のテーマに基づく各種事業を行い、市の魅力・ブランド力の向上を図る。	100周年推進室
観光情報の発信	観光客を誘致するため、パンフレットの作成・配布、ウェブサイトの運営を行い、市内外へ広く本市の観光情報発信に取り組む「一宮市観光協会」を支援する。	商工観光課
観光協会運営事業	観光客を誘致するため、観光案内所の運営やイベントの実施、名所旧跡や観光施設の保存・整備など観光資源の開発や保護等を行う「一宮市観光協会」を支援する。	商工観光課
一宮コスチュームタウンプロジェクト	繊維産業都市として培ってきたノウハウやポテンシャルを地域資源として活かすため、商工会議所が推進する「コスチュームタウン推進委員会」に参画して、市の魅力の向上を図るため、各種イベント等に協力する。	商工観光課
一宮モーニングプロジェクト	地域独特の食文化である喫茶店のモーニングサービスを本市の観光資源として全国にPRし、地域の活性化に取り組む「一宮モーニング協議会」を支援する。	商工観光課
ダンスを活用した街づくり事業	市の魅力の向上やダンスの街としてのイメージの定着を図るため、オリジナルダンス体操のDVD（小中学校教材用・一般貸出用）の作製や、市民を対象としたダンスレッスンを開催する。	スポーツ課
フィルム・コミッション活動	市の知名度やイメージの向上を目指し、映画やテレビ撮影等のロケ誘致に取り組み、撮影に協力する。	商工観光課
一宮市観光物産品の推奨認定	物産品の開発・販路の拡大による業界の振興や、市の観光PRを目的とし、観光物産品の推奨認定やガイドマップの作成・配布を行う「一宮市観光協会」を支援する。	商工観光課
いちのみや食ブランド推進事業	一宮の歴史、文化が感じられる食品を「いちのみや食ブランド」として認定し、商品のPR活動を行う商工会議所の「いちのみや食ブランド推進協議会」に参画・協力し、市の知名度の向上を図る。	商工観光課
いちのみや応援寄附に対する魅力ある特産品の提供	市の魅力や地元特産品をPRするため、市と協賛企業が協力し、寄附者に地元特産品等を記念品として贈呈する。	行政課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
市政に関するメディア掲載回数	718回	466回	436回				800回

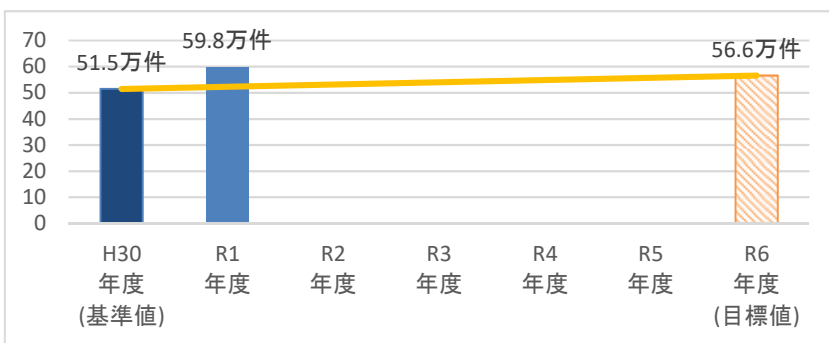


基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
718回	436回	800回	—

備考：R1年度からカウント対象を一宮市政に関わるものだけに変更した。

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
観光協会ウェブサイトアクセス件数	51.5万件	59.8万件	—				56.6万件

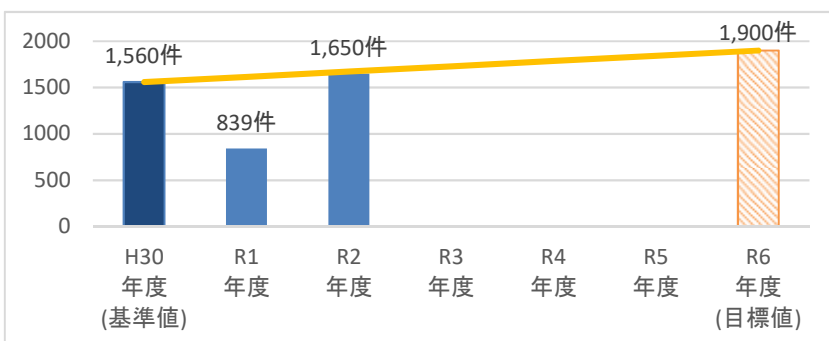
(1千件未満は四捨五入)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
51.5万件	—	56.6万件	—

備考：R2年度末に公式サイトをリニューアルしたため把握不能

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
いちのみや応援寄附金の寄附件数	1,560件	839件	1,650件				1,900件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
1,560件	1,650件	1,900件	26.5%

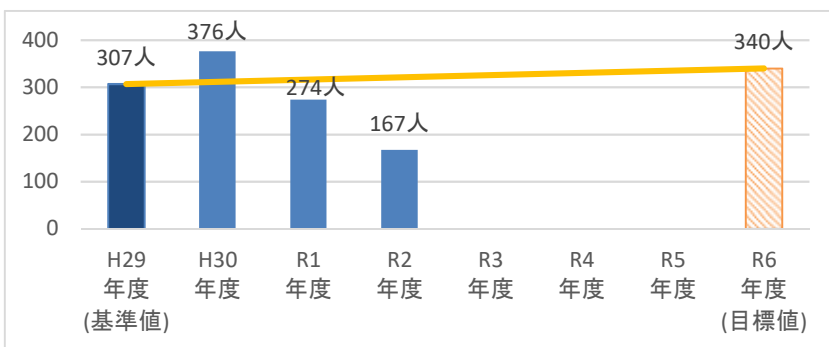
備考：R元年度は制度変更により減少。返礼品の種類を増やして回復。

### ③ 歴史・文化・スポーツを活用した集客

主な事業	事業概要	担当課
博物館・資料館・美術館展示事業	博物館・歴史民俗資料館・三岸節子記念美術館において、常設展、特別展や企画展などを開催する。	博物館管理課

市川房枝生家跡地の活用	市川房枝の生家の跡地を活用する計画を立案し、建物の撤去や、常時出入りできる公園・顕彰碑等の建設を行う。	博物館管理課
文化財活用環境づくり事業	指定文化財を保護するため、市・県・国指定文化財の保護・保存に必要な経費に対して補助を行う。	博物館管理課
美濃路みちおこしプロジェクト	市内外からの来訪者を増加させることを目指し、東海道と中山道を結ぶ美濃路「起宿」の文化財や文化遺産を活かして、路線バスや商工会・商工会議所等と連携した催事を行う。	博物館管理課
旧林家住宅保存活用事業	国登録文化財（建造物）・国登録記念物である旧林家住宅とその庭園を活用をすることにより、美濃路起宿界隈の歴史遺産を市内外に広くアピールする。	博物館管理課
世界的スポーツイベントに関連する事業の誘致	市民のスポーツへの関心を高め、地域の活性化を図るため、東京オリンピック・パラリンピック、アジア競技大会等の世界的スポーツイベントや関連事業を誘致する。	スポーツ課
いちのみやタワーパークマラソンの開催	市民にスポーツへの興味・関心をもってもらうとともに、市外に本市の自然の豊かさを広くPRすることを目指し、光明寺公園球技場周辺において、マラソン大会を開催する。	スポーツ課
広域スポーツ大会の誘致	市内で開催される、市や市教育委員会が共催または後援した国際大会及び全国規模のスポーツ大会の経費に対する補助を行う。	スポーツ課
関西・一宮セブズ(7人制ラグビーの大会)の開催	関西ラグビーフットボール協会に所属する22府県の代表チームによる7人制ラグビーフットボール大会を、同協会との共同で開催する。	スポーツ課

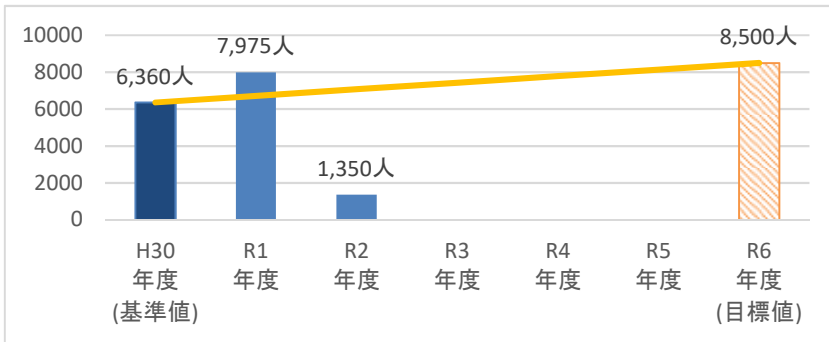
重要業績評価指標(KPI)の推移	H29年度 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
博物館・資料館・美術館の1日あたりの入館者数	307人	376人	274人	167人				340人



基準値	現状値	目標値	進捗率
H29年度	R2年度	R6年度	
307人	167人	340人	

備考：H30年度は開館20周年事業で入館者増。R2年度コロナの影響で減。

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
主要スポーツイベント参加者数	6,360人	7,975人	1,350人				8,500人



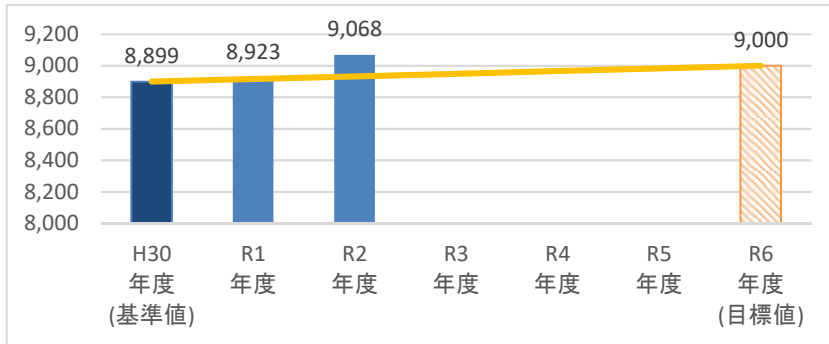
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
6,360人	1,350人	8,500人	

備考：コロナの影響で中止、縮小などのため。

## 基本目標4「活力」：「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる

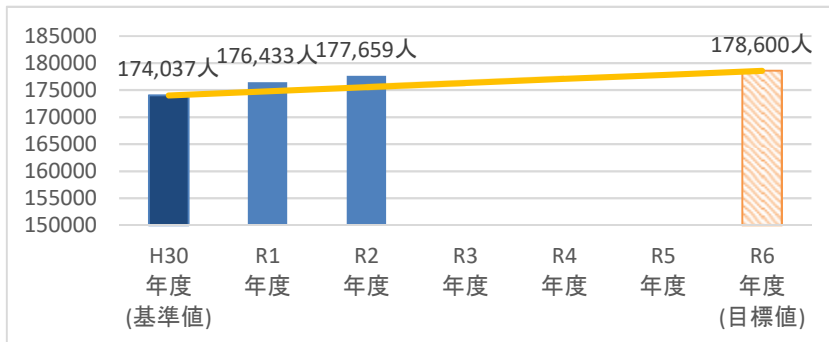
数値目標	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
法人数	8,899	8,923	9,068				9,000

(単位は「事務所数」)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
8,899	9,068	9,000	達成

数値目標	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
納税義務者数（個人市民税の所得割）	174,037人	176,433人	177,659人				178,600人



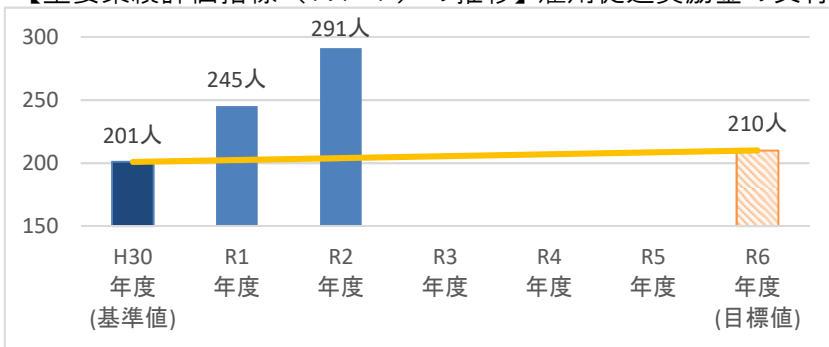
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
174,037人	177,659人	178,600人	79%

### ① 多様な手段による企業誘致の推進

主な事業	事業概要	担当課
企業立地促進奨励推進事業	企業の立地を推進するため、市内で事業所の新設等を行う事業者に対し、奨励措置等を行う。	企業立地推進課
産業拠点の企業立地支援事業	企業を誘致するため、インターチェンジや既存工業地周辺の土地において、企業が立地しやすい環境を構築するためのインフラ整備等を行う。 令和2年度で事業終了	道路課
創業支援事業	一宮商工会議所（ビジネス支援センター）、いちい信用金庫、尾西信用金庫が行う特定創業支援事業を受けた人に対し、証明書の発行や優遇措置を行う。	商工観光課
中小企業振興融資等補助事業	中小企業者が融資制度を利用した場合、信用保証料や利子補給の補助を行う。また、スタートアップ費用の負担を軽減するため、これまでの開業資金の補助制度を見直し、スピーディーな補助を行う。	商工観光課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
雇用促進奨励金の交付対象者数 (直近5年間累計)	201人 (H26~H30)	245人 (H27~R1)	291人 (H28~R2)				210人 (R2~R6)

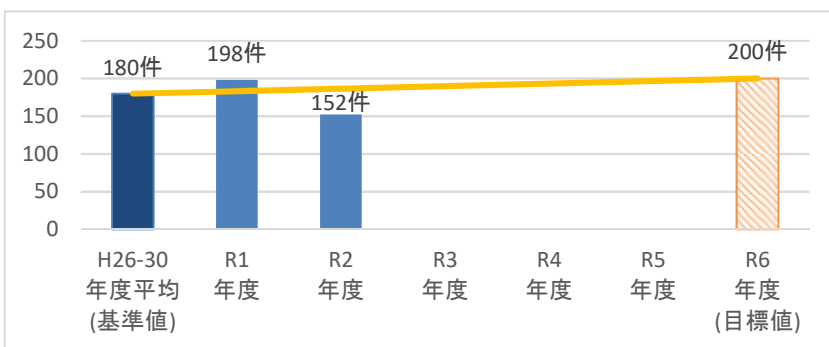
【重要業績評価指標 (KPI) の推移】雇用促進奨励金の交付対象者数 (直近5年間累計)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
201人	291人	210人	達成

備考：H28(55人)、H29(22人)、H30(107人)、R1(50人)、R2(57人)

重要業績評価指標(KPI)の推移	H26-30年度平均 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
創業相談件数 (過去5年間の平均値)	180件 (H26-30)	198件 (H27-R1)	152件 (H28-R2)				200件 (R2-6)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H26-30年度平均	R2年度	R6年度	
180件	152件	200件	—

備考：

## ② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化

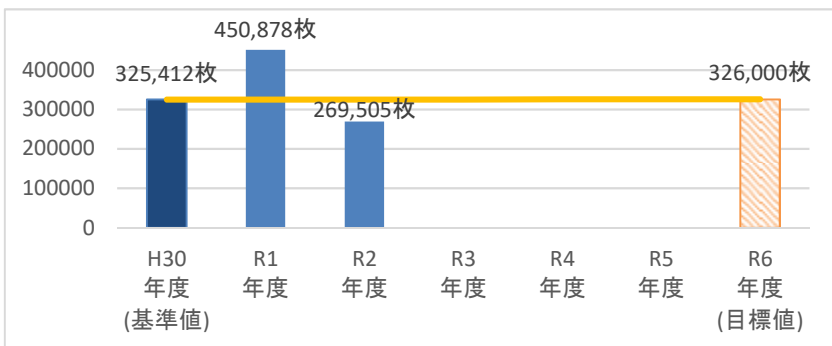
主な事業	事業概要	担当課
尾州の匠 ものづくりリレー事業	後継人材の育成と定着を図るため、将来、尾州産地で就職を希望する若者や尾州企業で就業する若者を対象として、織布工場を借り上げて、民間技術者による生地づくりの実践指導を行う。	商工観光課
ジャパン・テキスタイル・コンテスト開催事業	「暮らしのなかで必要とされ、新たな可能性を秘めた布地」の開発品を募集してコンテストを行うとともに、テキスタイル産業をアピールするため、優秀作品やテキスタイルデザイナーを顕彰して広く紹介・展示を行う。	商工観光課
海外販路開拓支援事業	海外展示会等への参加によりモノづくりやビジネスのグローバル化を推進するとともに、世界的に評価の高いメイド・イン・ジャパン、尾州テキスタイルの強みを活かし、海外での販路開拓、大手アパレルとの関係の強化を目指す。	商工観光課
尾州産地ブランド発信事業	尾州産地のブランド力を向上させるため、尾州の生地を使用したアイテムを作成し、首都圏でのPRイベントの開催や販売を行う。	商工観光課

尾州春夏物展示会開催負担事業	尾州産地の主力である秋冬素材の開発で蓄積してきた技術力と感性を活かし、春夏素材も積極的に市場に訴求するため、東京での展示会（Bishu Style）の開催を支援する。	商工観光課
繊維新商品開発補助事業	繊維品工業または繊維品に関連する卸売業に属する中小企業者が、共同して新たな需要の開拓のために行う新商品の開発や試作、試作見本の発表に係る経費に対し、補助を行う。	商工観光課
産業観光プロモーション調査事業	市内に多数残る地域・産業・建築上重要な「産業遺産」や、モーニング文化等の「文化遺産」を観光資源として活かし、都市のブランディングや交流人口の増加を図る。	商工観光課
FDC人材育成事業	素材や繊維産業の各工程の重要性を伝え、次代を担う人材を育成するため、若者を対象として工場での生地づくりの体験や実践的な技術指導を行う。	商工観光課
FDC尾州モノづくり・プロモーション支援事業	繊維産業の底上げを図るため、人材育成から、売れるモノづくり、商品売るプロモーションまで一貫した業界のサポートを行う。	商工観光課

【重要業績評価指標（KPI）の推移】

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
企業への貼付用「尾州マーク」販売・承認枚数	325,412枚	450,878枚	269,505枚				326,000枚

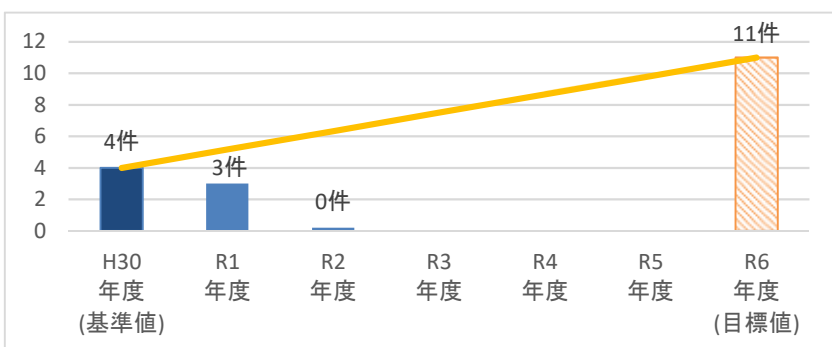
(1千枚未満は四捨五入)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
325,412枚	269,505枚	326,000枚	—

備考：コロナの影響により販売減

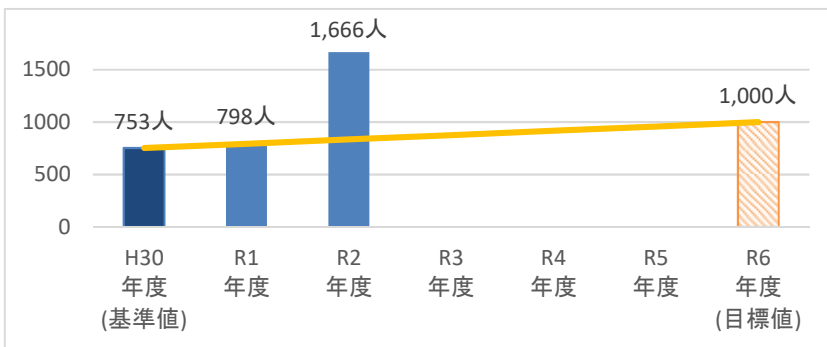
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
有名アパレルブランドと市内企業の契約件数	4件	3件	0件				11件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
4件	0件	11件	—

備考：コロナの影響によりマッチング事業中止

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
テキスタイル産業における人材育成事業の受講者数	753人	798人	1,666人				1,000人



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
753人	1,666人	1,000人	達成

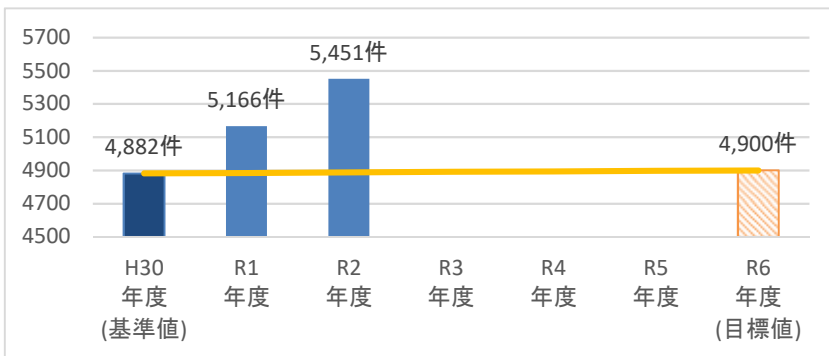
備考：R2年度はWEB開催分に参加者増

### ③ 既存産業の育成・支援

主な事業	事業概要	担当課
新商品開発・新分野開拓事業者支援事業	新商品を開発し、新分野の販路を開拓しようとする企業を支援するため、新商品の認定、市の組織での購入による実績づくり、市ウェブサイトでの紹介を行う。	商工観光課
貿易振興事業等補助事業	中小企業の行う貿易取引の拡大、貿易関連活動の振興、海外経済状況の把握・研究のため、団体が実施する事業の経費に対する補助を行う。	商工観光課
特許及び実用新案出願支援事業	市内企業の独自性の確立を推進するため、実用新案及び特許の審査登録にかかる経費に対して補助を行う。	商工観光課
中小企業相談所補助事業	経営指導員・専門相談員・振興指導委員等が巡回指導・窓口指導・講習会を行う小規模企業振興事業、ビジネス支援事業、SOHOインキュベータオフィス運営事業に対し、補助を行う。	商工観光課
商工会運営費補助事業	小規模事業者の振興と安定を図るため、尾西・木曾川商工会が経営の改善等を目的として実施する事業に対し、補助を行う。	商工観光課
就職支援事業	多くの市民が多様な働き方を選択できるよう、若者・高齢者・女性・障害者を対象とした就職フェアの開催など、ハローワークやNPO等と連携した就職支援を行う。また、就職が困難な人に対する個別対応を行う。	商工観光課 福祉総合相談室
6次産業化・地産地消推進事業	6次産業化推進のための啓発を行う。また、一宮産農産物・農産加工品の販売拡大に向けた支援や、「いちのみや野菜プロジェクト」の実施により地元産野菜等の消費拡大に向けた啓発を行う。	農業振興課



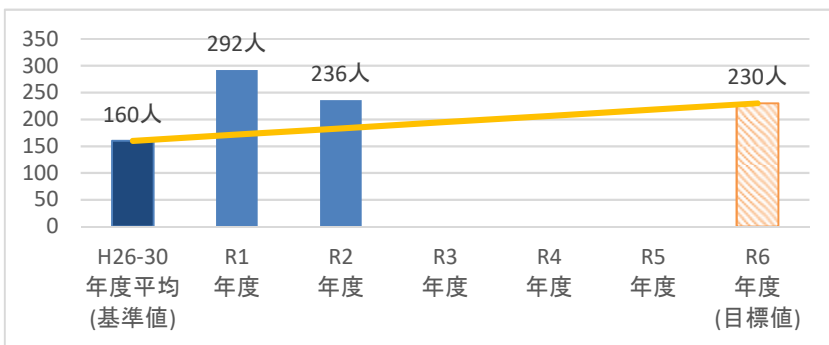
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
中小企業相談所への相談件数	4,882件	5,166件	5,451件				4,900件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
4,882件	5,451件	4,900件	達成

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H26-30年度平均 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
就職フェア参加者数	160人	292人	236人				230人

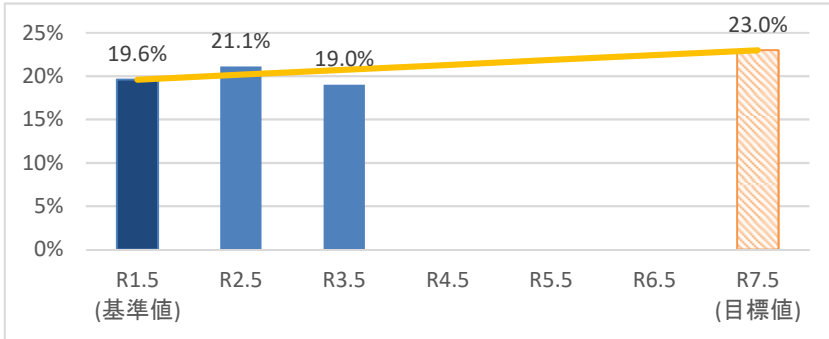


基準値	現状値	目標値	進捗率
H26-30年度平均	R2年度	R6年度	
160人	236人	230人	達成

備考：R2年度コロナ感染拡大防止対策による事業規模縮小開催

## 基本目標5「安心」：「安心して快適に暮らせるまち」をつくる

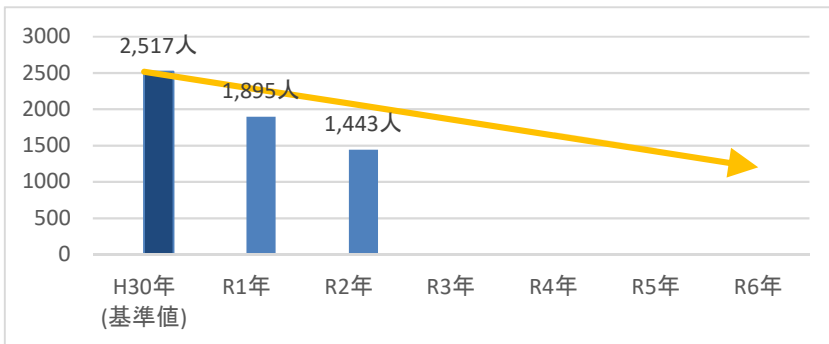
数値目標	R1.5 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
災害に強いまちづくりができていると思う人の割合	19.6%	21.1%	19.0%				23.0%



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.5	R3.5	R7.5	
19.6%	19.0%	23.0%	—

数値目標	H30年 (基準値)	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
交通事故による死傷者数	2,517人	1,895人	1,443人				*

\* 目標：毎年、前年より減少



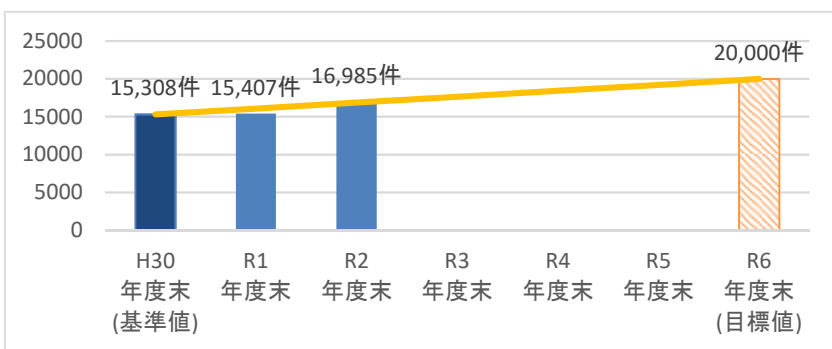
基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年	R2年	R6年	
2,517人	1,443人	前年より減少	達成

### ① 行政と地域・民間が協働した安全・安心なまちづくりの推進

主な事業	事業概要	担当課
国土強靱化地域計画推進事業	大規模災害においても必要な機能が維持される強靱な地域をつくるため、ソフト・ハードの防災・減災施策を体系的に行う国土強靱化地域計画を推進する。	危機管理課
避難所機能向上事業	災害発生時の生活支援拠点となる避難所の機能を充実させるための事業で、令和3年度は発電機の更新を行う。	危機管理課
防災情報伝達事業	災害発生時の被害の拡大を防止するため、災害情報共有システムやSNS、ケーブルテレビ・コミュニティFM等の複数の手段を活用し、迅速な情報発信や情報収集を行う。	危機管理課
高齢者宅を訪問しての防犯・交通安全の個別啓発	市内の満75歳を迎える人を対象に個別訪問し、防犯・交通安全についての啓発を行う。	市民協働課
自主防犯活動支援事業	一宮市民パトロール隊に登録した個人、団体に対し、防犯資器材・青色回転灯の貸与、研修会の実施等の支援を行う。	市民協働課

防犯カメラ設置・維持補助事業	設置者の負担を軽減し、防犯カメラの普及を促進するため、町内会等に対し、防犯カメラの設置・維持にかかる費用の補助を行う。	市民協働課
防犯灯設置・維持補助事業	夜間の犯罪を抑止するため、町内会等で設置・維持管理をする防犯灯等に対し、補助を行う。	市民協働課
交通安全運動推進事業	交通事故を防止するため、季節ごとの交通安全市民運動の時期に合わせた啓発、地域や一宮警察署及び各種団体等と連携した啓発活動を行う。	市民協働課
歩道拡幅事業	安全で快適に通行できる歩行空間を確保するため、光明寺二ツ屋線、五城森上線及び岩倉街道線の歩道を拡幅する。	道路課
交通安全施設整備事業	市道の安全上注意が必要な箇所にカーブミラーや道路照明灯、区画線などを設置する。	地域交通課
交通ビッグデータを活用した生活道路交通安全対策事業	安全な道路空間を確保するため、ETC2.0によるビッグデータを活用して、交通事故が発生している箇所等を事前に把握し、必要に応じ対策工事を行う。	地域交通課

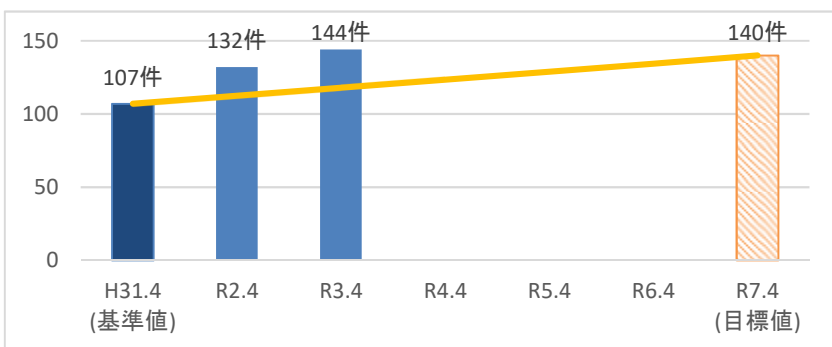
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30 年度末 (基準値)	R1 年度末	R2 年度末	R3 年度末	R4 年度末	R5 年度末	R6 年度末 (目標値)
あんしん・防災ねっと登録件数及び一宮市防災ツイッターフォロワー数	15,308件	15,407件	16,985件				20,000件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
15,308件	16,985件	20,000件	

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H31.4 (基準値)	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4 (目標値)
災害時協定の締結数	107件	132件	144件				140件

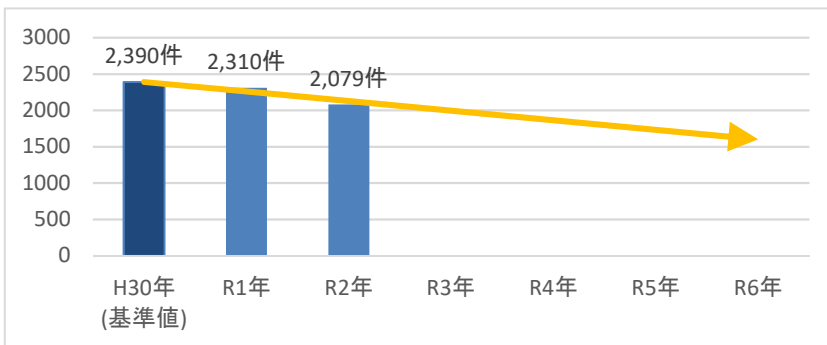


基準値	現状値	目標値	進捗率
H31.4	R2.4	R7.4	
107件	144件	140件	

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年 (基準値)	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
犯罪発生件数(刑法犯)	2,390件	2,310件	2,079件				*

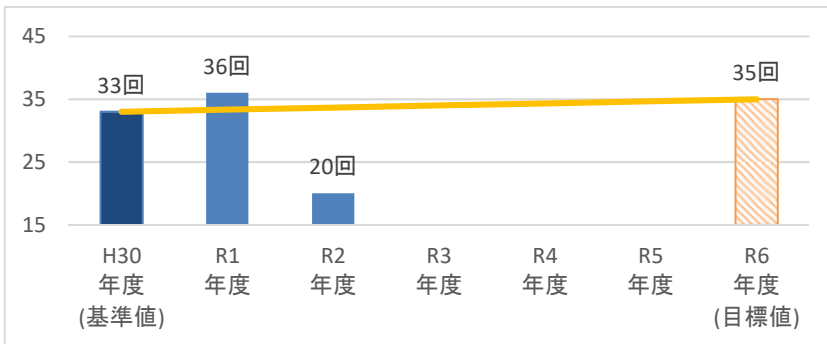
\*目標：毎年、前年より減少



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年	R2年	R6年	
2,390件	2,079件	前年より減少	達成

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
交通安全の啓発活動回数	33回	36回	20回				35回



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
33回	20回	35回	—

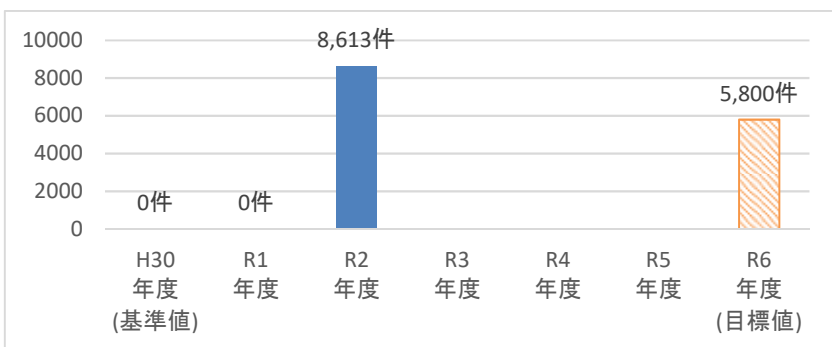
備考：R2年度コロナのため開催回数減

## ② 未来技術も含めた行政サービスの推進

主な事業	事業概要	担当課
5G利活用実証実験	未来技術を取り入れて効率的・効果的に行政サービスを推進することを目指し、5Gの社会実装に向けた実証実験を行う。 令和2年度で事業終了	デジタル推進室
スマート自治体への取組	人口が減少しても持続可能なまちで行政サービスが提供し続けられるよう、ICT・AI等の近未来技術を活用したシステムを導入する。	デジタル推進室
フリーWi-Fi(無料公衆無線LAN)サービスの拡大	市民サービスの向上及び災害時の情報提供などを目的に、「いちのみやフリーWi-Fi」の提供施設、アクセスポイントを拡充する。	デジタル推進室
民間で利活用できるオープンデータの公開	民間事業者や専門家等による新たな事業等の探求等を目的として、市が保有するデータをオープンデータとして積極的に公開する。	デジタル推進室
福祉総合相談窓口の設置	障害者、生活困窮者、精神・難病患者、高齢者などの問題を複雑に抱えた方の相談に対応する窓口として福祉総合相談室を設置する。	福祉総合相談室

公金納付方法の多様化対応	納税や公金支払いの利便性を向上させるため、キャッシュレスの導入や国のマイナポータルによる公金決済への対応について検討を行い、公金納付方法を多様化させる。	納税課 会計課
--------------	--	------------

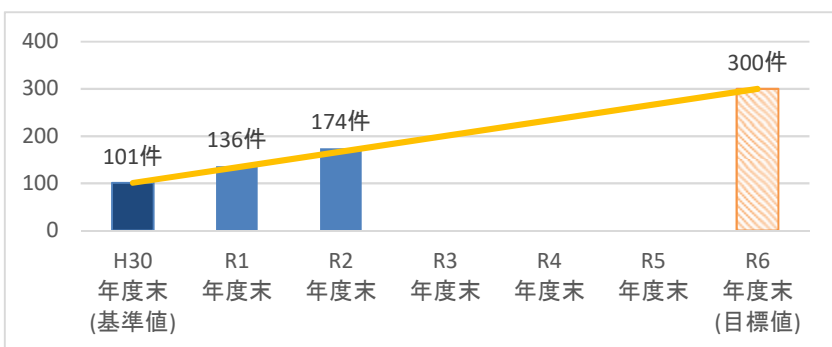
重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
AIチャットボット年間アクセス数	0件	0件	8,613件				5,800件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
0件	8,613件	5,800件	達成

備考：令和2年11月実証実験開始

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度末 (基準値)	R1年度末	R2年度末	R3年度末	R4年度末	R5年度末	R6年度末 (目標値)
オープンデータのカタログサイト登録数	101件	136件	174件				300件



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
101件	174件	300件	37%

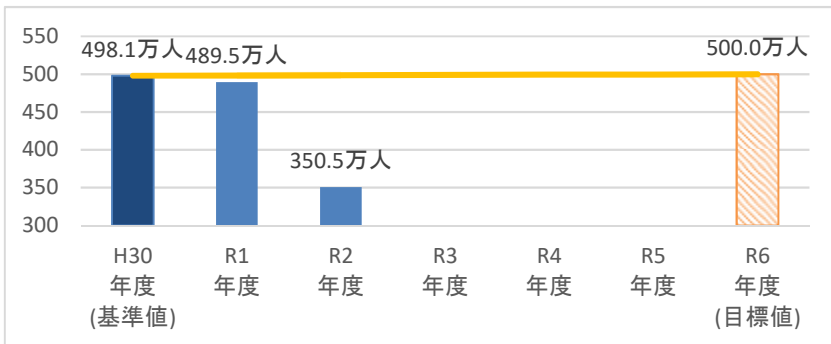
備考：

### ③ 暮らしを支える地域公共交通の検討

主な事業	事業概要	担当課
i-バスの運行	日常生活の移動手段を確保するため、i-バス（一宮、千秋町、大和町・萩原町、尾西北、尾西南、木曾川・北方コースの6コース）を運行する。	地域交通課
i-バスミニの運行	公共交通を利用しやすくするため、鉄道駅やバス停留所にアクセスしづらい市内地域を対象に、予約制の乗合タクシー「i-バスミニ」を運行する。	地域交通課
既存の枠組みにとらわれない、新しい移動手段の導入の検討	福祉施策との柔軟な連携、市民・NPO等によるボランティア輸送や、ICTを活用したシェアリングエコノミー、自動運転技術など、公共交通を補完・充実させる移動手段を検討する。	地域交通課

重要業績評価指標(KPI)の推移	H30年度 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度 (目標値)
名鉄バス・i-バス・i-バスミニの年間利用	498.1万人	489.5万人	350.5万人				500.0万人

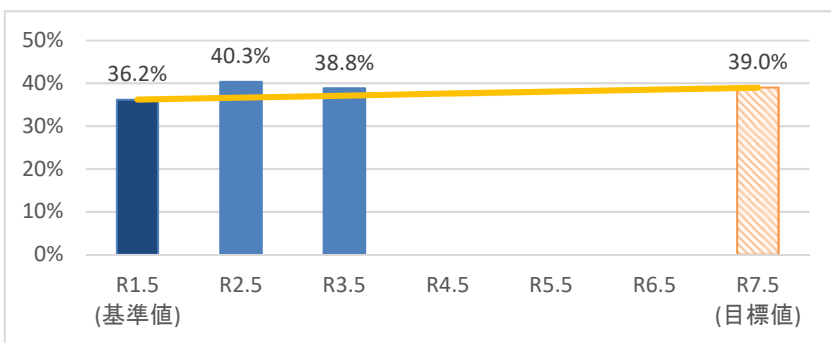
(1千人未満は四捨五入)



基準値	現状値	目標値	進捗率
H30年度	R2年度	R6年度	
498.1万人	350.5万人	500.0万人	—

備考：

重要業績評価指標(KPI)の推移	R1.5 (基準値)	R2.5	R3.5	R4.5	R5.5	R6.5	R7.5 (目標値)
市内の公共交通網が充実していると思う人の割合	36.2%	40.3%	38.8%				39.0%



基準値	現状値	目標値	進捗率
R1.5	R3.5	R7.5	
36.2%	38.8%	39.0%	93%

備考：